

平成30年度事業報告

公益社団法人佐賀県獣医師会定款第3条に規定した、獣医学術及び技術の振興・普及、獣医師道の高揚等を図ることにより、動物に関する保健衛生及び愛護精神の向上、畜産の振興や公衆衛生の向上、県民の社会福祉の増進並びに自然環境の保全などに寄与することを目的として、本会の運営と事業の推進に努めた。

I 組織運営

1. 会員

区 分	H30.3.31	新入会員	退会会員	H31.3.31現在
会 員 数	239名	5名	7名	237名

2. 総会及び理事会

(1) 総 会

平成30年度通常総会を平成30年5月27日（日）佐賀市「グランデはがくれ」において開催（会員出席57名、委任状151名）。事業報告・決算、事業計画・予算案など全議案を原案のとおり可決した。

○付議し、承認及び議決された議案

- ・第1号議案 平成29年度事業報告について
- ・第2号議案 平成29年度収支決算について
- ・第3号議案 定款の一部改正（案）について
- ・第4号議案 役員報酬規程の一部改正（案）について
- ・第5号議案 平成30年度役員報酬（案）について
- ・第6号議案 平成30年度会費（案）について
- ・第7号議案 預金・借入先並びに借入金限度額（案）について
- ・第8号議案 役員の選任（案）について
- ・附帯決議（案）

報告事項

- ・平成30年度事業計画について
- ・平成30年度収支予算について

(2) 理事会

ア 第1回理事会

開催日 平成30年4月26日（木） 14時～

場 所 多久市 佐賀県獣医師会事務所

- 議題等
- ・業務執行理事の事業報告
 - ・平成30年度通常総会のことについて
 - ・平成30年度通常総会の提出議案について
 - ・総会における功労者表彰について

イ 第2回理事会

- 開催日 平成30年7月25日(水) 14時～
場 所 多久市 佐賀県獣医師会事務所
議題等
- ・事業執行理事の事業報告
 - ・日本獣医師会創立70周年記念事業功労者表彰について
 - ・九州地区獣医師大会提出議案について
 - ・九州地区獣医師大会における功労者表彰の推薦について
 - ・理事の自己契約の承認について
 - ・動物愛護関係行事について

ウ 第3回理事会

- 開催日 平成30年11月21日(水) 14時～
場 所 多久市 佐賀県獣医師会事務所
議題等
- ・第68回九州地区獣医師大会・学会（佐賀大会）の準備について
 - ・災害時の動物救護活動に関する協定の締結について
 - ・被災動物救護活動事業実施要領の一部改正（案）について
 - ・VMA T（災害派遣獣医療チーム）の養成について
 - ・2019年度定時総会について
 - ・業務執行理事の事業報告
 - ・獣医療体制整備委員会の検討事項について

エ 第4回理事会

- 開催日 平成31年3月14日(木) 14時～
場 所 多久市 佐賀県獣医師会事務所
議題等
- ・定款の一部改正（案）について
 - ・慶弔規程の一部改正（案）について
 - ・新入会員の承認について
 - ・2019年度事業計画及び予算（案）について
 - ・資産の事業活用について
 - ・永年功労者表彰の推薦について
 - ・事業執行理事の事業報告
 - ・第68回九州地区獣医師大会・学会（佐賀大会）について

（事業の報告）

I. 公益1 人と動物が共生する社会環境の健全な発展を目的とする事業

1. 公衆衛生及び社会福祉増進事業

（1）狂犬病予防事業

本病の感染防止のため、厚生労働省局長通達に基づき県・市町と獣医師会が連携して狂犬病予防注射による予防対策を推進し、公衆衛生等の向上に努めた。

1) 集合注射

狂犬病予防法等に基づき、県内の市・町において毎年4月から6月までの間に集合注射が計画され、注射業務について本会が事業として担い、その業務に対応した。

2) 個別注射

集合注射を受けることができなかった犬及び新規飼育等による未接種犬などに対し、会員動物病院において狂犬病予防注射を実施した。

(集合注射の実績)

地区名	期 間	実施箇所	派遣獣医師
佐賀地区	4月3日～4月23日(延べ20日間)	38箇所	12名
神埼地区	4月8日～4月22日(延べ9日間)	18箇所	2名
小城多久地区	4月4日～4月16日(延べ11日間)	18箇所	5名
鳥栖地区	4月3日～4月23日(延べ10日間)	13箇所	4名
唐津地区	4月6日～5月13日(延べ18日間)	53箇所	14名
西松浦地区	4月2日～6月8日(延べ20日間)	52箇所	8名
杵島地区	4月4日～4月27日(延べ18日間)	33箇所	4名
藤津地区	4月4日～4月20日(延べ14日間)	26箇所	3名

(予防注射の実績)

支 部 名	集 合	個 別	計	対前年比
佐賀・神埼支部(佐賀)	2,707	4,665	7,372	54
佐賀・神埼支部(神埼)	810	215	1,025	▲129
小城・多久支部	1,366	810	2,176	▲73
鳥栖支部	1,792	476	2,268	▲341
唐津支部	2,102	2,121	4,223	▲45
西松浦支部	2,212	1,560	3,772	139
杵藤支部(杵島)	2,045	775	2,820	▲214
杵藤支部(藤津)	1,346	1,092	2,438	▲51
合 計	14,380	11,714	26,094	▲660

(2) 狂犬病予防啓発事業

4月から6月までの狂犬病予防月間において狂犬病予防注射の実施について新聞等のマスコミを利用し広告を掲載し周知するとともに、県や市・町と連携して本会が作成した啓発ポスターやチラシを行政機関の窓口等で配布した。また、人獣共通感染症について日本獣医師会等から情報を収集し、会員への提供やホームページに掲載するなどして普及啓発活動を実施した。さらに会員動物病院において動物飼育者に対し狂犬病等の人獣共通感染症の予防や正しい知識について指導する等、積極的に普及啓発活動を実施した。

2. 動物愛護普及啓発事業

動物愛護及び管理に関する法律に基づき、県民の動物愛護思想の普及啓発・定着化を目的として以下の事業を実施した。

(1) 動物保護管理推進事業

1) 動物愛護フェスティバル

動物の習性や正しい飼育方法の周知及び動物愛護・保護精神の育成等の普及啓発を目的に佐賀県等と共催による「動物愛護フェスティバルさが」を開催し、広く県民に啓蒙・普及を図った。

○開催日 平成30年10月21日(日)

○開催場所 佐賀市「佐賀県立森林公園」

○行事概要

<表彰>

・優良飼育者表彰(4組5名)

・小学校児童の図画コンクール展示・表彰

(応募数112校 2,846点 最優秀賞3、優秀賞6、佳作18)

<イベント>

・ペットなんでも相談(担当会員 2名 相談件数 23件)

・動物ふれあい広場

・動物しつけ相談

・譲渡犬の同窓会および譲渡情報の掲示

・動物クイズラリー、工作コーナー(迷子札作成)

・動物折り紙、お絵かきコーナー

・鷹匠および警察犬の訓練実演 など

2) 休日当番獣医師制度の運用

適切な動物の保護・管理の普及・啓発を目的として、休日における動物飼養者の利便に対応するため、新聞に休日在宅獣医案内を掲載するとともに、動物病院の休日当番の案内専用フリーダイヤルを開設し、緊急の疾病等に対応した。

休日当番協力動物病院	32病院
休日診療件数	375件
電話相談件数	140件
フリーダイヤルアクセス数	1,699件

3) 小動物診療相談窓口の設置

犬、猫等の小動物における動物病院での診療に関する県民からの相談に応じるため、平日において「小動物診療相談窓口」を本会に設置し、診療に関する相談等について受け付けした。

・診療等に関する相談 29件

(2) 犬猫避妊等手術助成事業

1) 犬猫避妊手術助成事業

不要な犬や猫の増殖抑制を図り、動物愛護に基づく適切な飼育方法の普及・啓発や人と動物が調和した共生社会の確立を目指す取り組みとして、雌犬・雌猫の避妊手術を希望して会員動物病院で手術を受けた場合の費用の一部(犬3,000円/頭、猫2,000円/頭)を助成した。

犬避妊手術助成	92頭
猫避妊手術助成	226頭

2) 譲渡犬猫不妊去勢手術助成事業 (佐賀県委託事業)

適切な動物の保護・管理の普及・啓発を目的として、家庭等において飼育できずに放置され致死処分などされる犬及び猫を減少させるため、佐賀県では保護した犬猫について佐賀県犬猫譲渡センター「いっしょけんね」で飼育管理し、新たな飼育者を募集して譲渡している。この譲渡された犬猫については、不妊去勢手術が義務付けられ指定動物病院で手術を受けた場合、新たな飼養者が負担すべき費用の一部を県が助成しており、本会がその事業を受託し助成事業を実施した。

犬	不妊手術助成頭数	37頭
	去勢手術助成件数	20頭
猫	不妊手術助成頭数	25頭
	去勢手術助成件数	17頭

(3) 傷病野生鳥獣救護事業

佐賀県が実施している傷病野生鳥獣救護事業では、県民が保護した傷病野生鳥獣について会員動物病院で治療等を行い快復に野生に戻すこととしており、これら事業の円滑化のため事業実施に協力した。

・傷病動物保護報告 1件(野鳥:ジョウビタキ)

(4) 野生動物救護対策事業

特別天然記念等に指定されている長崎県「ツシマヤマネコ」、宮崎県「都井岬馬」についての獣医療を通じた保護活動に対し、九州地区獣医師会連合会の「希少野生動物保護支援協議会」を通じて支援した。

(5) 福祉介護動物等医療助成事業

1) 福祉介護犬医療助成事業

「身体障害者補助犬法」で認定された盲導犬等の感染症の予防と健康管理・保持を図ることにより、人と動物の共生社会の確立や障害者等の社会参加を促進する目的で盲導犬等に対するワクチン等予防接種、投薬、診療等の費用を助成した。

盲導犬診療	6件
-------	----

2) セラピー動物医療助成事業

セラピー動物は、病院、障害者及び高齢者施設等において心の癒しとなるとともに豊かな心の醸成に貢献している。このセラピー動物の感染症の予防と健康管理の保持を図るため、ワクチン接種や予防薬投薬に係る費用の一部を助成した。

佐賀農業高校	犬 5頭
佐賀県馬術連盟	馬 1頭

(6) 学校飼育動物対策事業

小学校における飼育動物の健全な飼育の条件整備や疾病への対応等に関する共通理解を通して命ある生き物に対する豊かな心を育む教育の推進に資するため、本会が設置する学校飼育動物対策委員会を中心として支援活動等を行うとともに、会員動物病院等による電話相談窓口を開設し、飼育動物の診療や飼育指導等の要望に対応した。

1) 広報活動

- ・学校飼育動物に関する支援の周知
- ・「がっこう動物新聞」の提供
- ・日本動物児童文学賞受賞作品の配布

2) 電話相談窓口

月 日	学校名	種類	相談内容等
3. 27*	若楠小	ウサギ	来院 去勢
4. 2	若楠小	ウサギ	来院 子宮卵巣摘出手術
4. 16	中原小	ウサギ	電話 飼育指導、避妊対策
4. 27	西郷小	ウサギ	電話 治療相談、歯根膿瘍内服薬処方
5. 15	神野小	ウサギ	現場 避妊対策相談、(預り去勢3羽)
10. 19	西郷小	ウサギ	電話 治療相談、歯根膿瘍内服薬処方

*平成30年度事業として取扱い

(7) 被災動物救護活動事業

地震や豪雨など不測の災害が発生した場合において、被災動物の救護に関する活動業務等を迅速かつ的確に実施するため、九州各県獣医師会で相互支援する災害派遣獣医療チーム（VMA T）の体制構築が提唱され、県内VMA T隊員の養成に向け災害時救護に関する獣医師講習会やVMA T認定講習会の受講等について助成した。

1) 災害時動物救護に関する獣医師講習会

- ・開催日 平成31年2月17日
- ・場所 ホテルマリターレ創世
- ・講師等 「VMA Tを通じた災害時の動物救護」
九州災害時動物救援センター副所長 船津 敏弘 氏

2) VMA T認定講習会

- ・2名受講

3. 家畜衛生及び畜水産業振興支援事業

畜産の振興並びに安全・安心な畜水産物の生産・供給を図り、国民の食生活の向上に寄与するため、畜産関係団体等が推進する事業に協力・支援した。

(1) 畜産関係指導普及事業

1) 畜産団体への協力

佐賀県畜産協会の特定疾病予防接種推進事業及び佐賀県農業共済組合連合会の家畜共済事業に指定獣医師として本会推薦の獣医師が従事し、事業の推進に寄与した。

- ・佐賀県畜産協会 指定獣医師 27 会員
- ・佐賀県農業共済組合連合会 嘱託・指定獣医師 22 会員

○特定疾病予防接種推進事業実績（平成30年度）

畜種	ワクチン	実施頭数	畜種	ワクチン	実施頭数
牛	異常産3種混	1,997	牛	牛6種混	8
牛	異常産4種混	3,748	牛	ヘモフィルス	1,058
牛	イバラキ病	1,783	牛	牛5種混(生)+ヘモフィルス	6,145
牛	牛5種混(生)	1,136	豚	豚丹毒	3,767
牛	牛5種混(不活化)	158	豚	日脳・パルボ	260

○家畜共済事故実績（平成30年度）

畜種	加入頭数	病類	呼吸器病	消化器病	生殖器病	その他	頭件数計
成乳牛	1,914	病傷	76	522	987	1,190	2,629
		死廃	6	99	0	190	295
育成乳牛	145	病傷	12	17	29	3	61
		死廃	0	1	0	1	2
乳用子牛	188	病傷	8	16	1	4	29
		死廃	0	2	0	1	3
乳用子牛等	2,103	病傷	106	178	0	157	441
		死廃	7	27	0	137	171
肥育用成牛	32,796	病傷	8,681	14,485	5	2,475	25,646
		死廃	132	265	4	225	626
肥育用子牛	95	病傷	649	55	0	19	723
		死廃	25	2	0	11	38
その他の肉用成牛	13,278	病傷	1,325	1,613	3,497	1,148	7,583
		死廃	32	137	4	156	329
その他の肉用子牛	2,753	病傷	2,338	797	8	135	3,278
		死廃	45	12	0	22	79
その他の肉用子牛等	12,046	病傷	4,790	3,881	8	736	9,415
		死廃	124	135	0	462	721
合計	65,318	病傷	17,985	21,564	4,389	5,867	49,805
		死廃	371	680	8	1,205	2,264

2) 講演会の開催

感染症の予防と生産技術の向上が畜産業振興に寄与することから、肉用牛に係る研修会をパワフルさが畜産実践プロジェクト推進委員会、佐賀県畜産技術者連盟との合同で会員、県内畜産関係者を対象に開催した。

○開催日 平成30年7月26日(日)

○場 所 唐津市 唐津市民会館

○演題等

- ・ファームノートを活用した分娩間隔短縮の取組
- ・分娩間隔短縮に関する優良事例発表及び意見交換

3) 畜産共進会

佐賀県の和牛改良を促進し、優良牛の生産拡大及び肉用繁殖牛農家の経営安定を図り、本県畜産の振興に寄与することを目的に第14回佐賀県和牛改良組合共進会が開催され、本会も協賛し、副賞として獣医師会長賞を贈呈した。

・期日 平成30年12月19日(水)

・場 所 多久市 JAさが畜産センター

・褒賞 3点(未経産I類、未経産II類、経産の部の最優秀賞)

(2) 獣医公衆衛生指導普及事業

県民への食の安全・安心の普及啓発を目的として、食品衛生に関するテーマについて公衆衛生関係者を対象として公衆衛生部会講習会と併せて実施した。

<講習会>

・開催日 平成31年2月16日(土)

・場 所 佐賀市 サンシティビル

・演題等

「国立保健医療学院 食肉衛生研修(食肉衛生及び食品衛生)について」

講師 佐賀県食肉衛生検査所 藤木 美和 氏

II. 公2 学術の振興を目的とする事業

1. 獣医学術九州地区学会・大会事業

(1) 九州地区獣医師会大会・獣医学術九州地区学会

○開催期日 平成30年10月14日(日)

○開催場所 福岡県福岡市「福岡国際会議場」

○参加者 717名(本会26名)

1) 第67回九州地区獣医師会大会

ア 大会テーマ

「人と動物の共生による災害時動物救援体制の推進を！」

イ 大会スローガン

- ・九州VMA Tを各獣医師会10名以上養成する
- ・福岡宣言に基づくOneHealth理念を医療・獣医療で連携し、更に越境性動物疾病の侵入防止体制の強化を図る
- ・公務員及び産業動物獣医師、勤務獣医師の働く環境と処遇の改善による人材確保を図る

ウ 大会決議事項

- ・九州地区災害時動物救援体制の緊急整備（九州VMA T養成）
- ・福岡宣言に基づくOneHealth理念の推進と高度な獣医療提供体制の確立
- ・産業動物診療及び公務員を含む勤務獣医師の処遇改善の推進による人材確保

エ 功労者等表彰受賞者

- ・九州地区獣医師会連合特別功労者表彰
御厨 猛男 氏（中央支部）
- ・九州地区獣医師会連合会会長表彰
舟木 正孝 氏（鳥栖支部）
伊東 芳夫 氏（西松浦支部）

2) 平成30年度獣医学術九州地区学会

ア 本会会員の学会発表

○日本産業動物獣医学会

演 題	所 属	氏 名
と畜場由来ウシ卵巣からの効率的な胚生産の検討	畜産試験場	井戸 明子
2017年度に佐賀県で発生した二分脊椎を伴ったキアリ様奇形2例	中部家畜保健衛生所	平野 慎二
佐賀県北部地域で流行した牛呼吸病症候群の発生状況	中部家畜保健衛生所	久野 裕理

○日本小動物獣医学会

演 題	所 属	氏 名
犬猫の耐性菌による難治性尿路感染症に対する対策とその効果	古川動物病院	古川 彰宏

○日本獣医公衆衛生学会

演 題	所 属	氏 名
関節炎型豚丹毒の保留基準に関する検討	食肉衛生検査所	小副川 雨香
牛の陰囊の腫瘍	食肉衛生検査所	丸田 麻代

イ 地区学会審査員・座長

- ・日本産業動物獣医学会 一丸 仁（中部家畜保健衛生所）
- ・日本小動物獣医学会 古川 彰宏（古川動物病院）
- ・日本公衆衛生獣医学会 山口 義孝（食肉衛生検査所）

2. 講習会・研修会開催事業

会員の学術の研鑽と獣医療技術の向上並びに畜産の振興、公衆衛生の向上、動物愛護及び社会福祉の向上を目的として産業動物部会、小動物部会、公衆衛生部会ごとに講習会・研修会を実施した。

(1) 産業動物部会

期 日	講習会名	場 所	演 題・講 師 等	参加者
7.26	産業動物 研 修 会	唐津市 唐津市民 会 館	ファームノートを活用した分娩間隔短縮の取組 JAさが 飼料課 分娩間隔短縮に関する事例発表及び意見交換会	100名 (会員) 20名
11.30	産業動物 講 習 会	佐賀市 グランデ はがくれ	和牛産地におけるEBL(牛白血病)対策 宮崎大学 関口 敏	45名

(2) 小動物部会

期 日	講習会名	場 所	演 題・講 師 等	参加者
6.4	症 例 検 討 会 (講習会)	鳥栖市 JAグリー ンパレス	症例発表 7題 犬と猫の不明熱 鹿児島大学 遠藤 泰之	20名
9.2	第1回 講習会	鳥栖市 JAグリー ンパレス	「ショックを制するものは、緊急を制する」 TRVA夜間救急動物医療センター 中村 篤史	43名
11.25	第2回 講習会	鳥栖市 JAグリー ンパレス	腫瘍免疫から小動物臨床のがん治療の今と未来を考える ～ オブジーボについてもお話しします 山口大学 水野拓也	27名

(3) 公衆衛生部会

期 日	講習会名	場 所	演 題・講 師 等	参加者
2.16	獣医公衆 衛生講習 会	佐賀市 サンシテイ ビル	国立保健医療学院食肉衛生研修(食肉衛生及び食品衛生) 佐賀県食肉衛生検査所 藤木美和 健康増進課における感染症危機管理等の業務経験 佐賀県食肉衛生検査所 大木康史	25名

Ⅲ. 収益事業

1. 獣医療証明書等頒布事業及び保有資産賃貸事業

(1) 獣医療証明書等の作成頒布

獣医療法等で診療に義務付けられている証明書様式を作成し、頒布しました。

頒布実績（平成30年4月～平成31年3月）

様式名	頒布数量
予防接種証明書（A様式）	99
予防接種証明書（B様式）	91
指示書	23
病症事故診断書（B4版）	90
病畜等診断書（A4版）	48
家畜診療簿	0
狂犬病予防注射証明書	159
個別注射集計表	15

(2) 保有資産の有効活用

本会が保有している財産（土地）を貸付し、有効活用しました。

- ・財産の種類 土地
- ・所在地 佐賀市高木瀬町大字長瀬
- ・面積 629.06㎡ 賃貸料 月額 5万円

Ⅳ. その他の事業

1. 会員相互扶助事業

会員の福利向上の充実を図り、本会の公益目的事業の円滑な推進に資するため次の事業を実施しました。

(1) 親睦事業

- ・平成30年5月27日（日）通常総会後に懇親会を開催した。

(2) 獣医事業

- ・日本獣医師会等からの獣医事に係る情報について、ホームページへの掲載や会員に対に対する文書送付等により提供した。

(3) 福利・研修事業

- ・九州各県・市獣医師会や各獣医学会が開催する講習会・研修会への参加案内及び各種共済制度等について紹介や情報を提供した。

(4) 学術奨励

- ・獣医学術学会九州地区大会の発表者6名に対し、発表奨励費を交付した。
- ・平成30年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（横浜大会）への事前参加登録料（1名）を助成した。

(5) 慶弔

- ・供花8件、香典3件を給付した。

(6) 表彰

- ・平成30年度佐賀県獣医師会総会において永年功労者6名を表彰した。また、第67回九州地区獣医師大会（福岡大会）の九獣連会長表彰に3名の候補者を推薦した。

2. その他法人関連事業

(1) 獣医療整備検討委員会

各事業の推進や会運営の課題等に対応するため、獣医療体制整備委員会を開催した。

○期日 平成30年10月31日（水）

○場所 多久市 佐賀県獣医師会事務所

○協議事項

- ・第68回九州地区獣医師大会・学会（佐賀大会）について
- ・被災動物救護活動事業の運用について
- ・動物福祉管理に関する事業の推進について
- ・獣医師会の組織及び業務運営について

(2) 佐賀県医師会との学術協力

「OneHealth」の理念のもとに、人獣共通感染症の予防対策等について情報交換を行った。

(3) 要請活動

1) 九州獣医師大会における決議事項の要請

九州地区獣医師大会で決議された提出議案の実現に向け、各県獣医師会長の連名による要望書を提出した。

- ・要請先 佐賀県知事及び関連部局長（平成30年12月3日）
佐賀県県議会議員 木原議員（平成30年12月5日）
佐賀県県議会議長 石倉議長（平成30年12月18日）

(4) 会報、諸会議等

1) 会報の発行

佐賀県獣医師会会報（第37号、第38号）を発行した。

2) 諸会議への参加

本会主催及び関係機関や団体等が開催した行事や会議等へ参加した。
概要は事務局日誌のとおり。